

# 輸入車10年前ニュース

Imported cars before ten years

# '97.6

「21世紀最初の国際博覧会」の座をめぐってカナダのカルガリーと愛知県が激しい誘致合戦を繰り広げた。その結果、愛知万博=“愛・地球博”の開催が決まったのが10年前の6月12日。「自然の叡智」をテーマに121ヵ国と4国際機関が参加し、2200万人の来場者を集めるなど大成功を収めたことはまだ記憶に新しい。

資料提供：毎日新聞社



6/1

## マセラティがフェラーリ傘下に

フェラーリがフィアットからマセラティ発行株式の50%を取得。経営権と開発/生産に関する全責任を掌握すると発表した。フェラーリはすでに4年前からマセラティ車の開発を技術的に支援してきたが、その関係をいっそう強める形。ご存知のように、後に発表された3200GT(現クーペ)や現行クアトロポルテはその賜物である。なお、相前後してマセラティの日本におけるインポーターがガレージ伊太利屋からコーンズへと移管されている。



6/1



## BMW L7発売

E38型7シリーズのロングホイールベース版は「iL」。そのBピラーから後ろをさらに250mm延長しショーファードリブン向けとしたのが「L7」だ。スリーサイズは5375×1860×1425mm、ホイールベース3320mm、車重は2140kgとなった。パワートレインは750iLと同じM73型5.4ℓV12で326ps/49.9mkgを発生する。生産はドイツだが販売は中東地域と韓国/台湾/中国、そして日本のみ。日本での価格は1690万円だった。

6/20

## シボレー・カマロに限定車

生誕30周年のカマロに「RSパッケージ」が登場。内容は本国で「カマロRS」としてラインナップされているモデルそのもので、3.8ℓV6搭載のクーペをベースにフロントエアダム、サイドスカート、リアスポイラー、専用リアバンパー等のエアロパーツと専用バッジが追加されている。限定200台でボディカラーはブライトシルバーとブライトレッドを用意。価格はベースモデル比10万円アップの285万円とされた。



6/21



## アルファGTVが3ℓに

前年1月に発売されたアルファGTVのパワーユニットが、それまでの2ℓV6 SOHC+ターボから3ℓV6 DOHC自然吸気へと変更された。新ユニットの最高出力/最大トルクは220ps/27.5mkgで、従来の2ℓターボと比べると+20ps/-0.1mkgとなる。同時に4ポットブレーキキャリパー、助手席エアバッグなど装備を充実させ、アルミホイールとステアリングホイールのデザインも新しくなった。価格は従来の2ℓターボモデルより10万円高い440万円。

6/24

## ボルボ940に最終限定車

元をたどれば1982年登場の740まで行き着く940シリーズ。このたび生産終了の時を迎え、世界で唯一、日本市場でだけ98年モデルが発売されることになった。サルーンとエステートが選べる「クラシック」(380/400万円)と、エステートのみの「タック」(350万円)で計1500台限定。エンジンは共に2.3ℓ直4ターボだが「クラシック」はハイプレッシャーで165ps/26.9mkg、「タック」はロープレッシャーで130ps/23.4mkgとなる。



Photo=CG Library